

平成26年 3月 7日

保護者 様

尼崎市立園田北小学校  
校長 小谷 彩紀子

### 平成25年度 全国学力・学習状況調査の概況について

本市では、平成16年度から、学力・生活実態調査を実施していましたが、平成24年度で終了しました。今年度からは、5年生を対象にした「学習到達度調査」（11月実施）に引き継がれました。

この紙面での概況につきましては、6年生を対象にした全国学力・学習状況調査の結果を掲載しています。

#### 1 各教科の概要（全国平均との比較）

- 国語A（主として知識）では、（+ 6.7point）上回っています。
- 国語B（主として活用）では、（- 0.3point）ほぼ同じ。
- 算数A（主として知識）では、（- 1.9point）下回っています。
- 算数B（主として活用）では、（- 2.3point）下回っています。

#### 2 各教科の設問別の状況（全国平均との比較）

【国語A】設問別では、ほとんどの設問で全国より高く、特に「漢字を書く」が 30.9 ポイント、「読み取って書く」は 17.3 ポイントも上回っています。課題は「漢字を読む」で、全国より 2.7～5.9 ポイント下回っています。

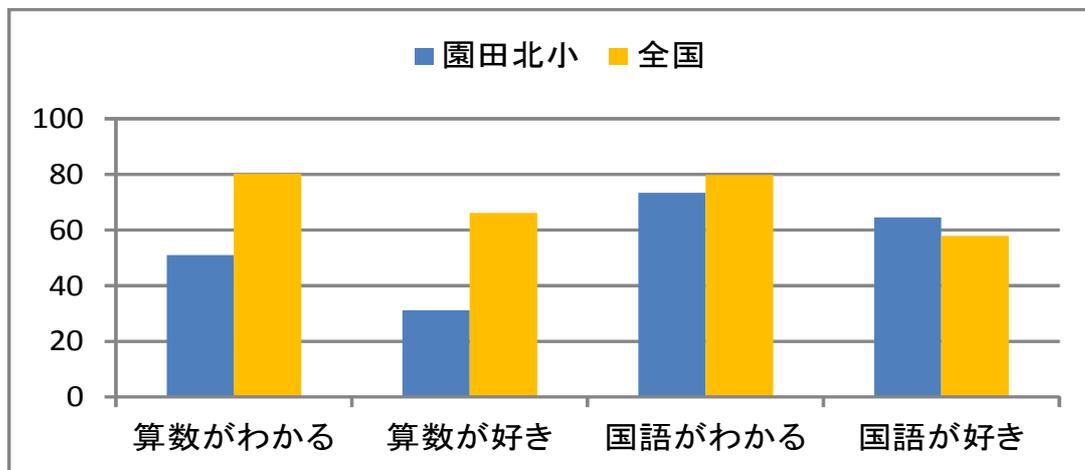
【国語B】ほぼ全国と同じレベルです。設問別では、「相手の立場や状況を感じ取って聞く」「適切に助言、効果的に助言」についてが全国より 1.2～2.6 ポイント上回っておりますが、「適切に書き加える」「適切に引用して書く」については全国より下回っています。

【算数A】設問別では、「4則計算」「合同」や「見取り図・展開図」で、全国を上回っているか同レベルです。一方、「概数」「余りのある除法」では 18.3～20.2 ポイント全国を下回っており、平均を押し下げています。

【算数B】13の設問中、4問でほぼ全国と同じか、1.4～8.4 ポイント全国を上回っています。一方、9問で 0.5～9.6 ポイント下回っており、知識を活用する面での課題が見られます。

### 3 質問紙調査について

－「子どもの意識や生活」の全国との比較（1）－



質問紙調査は、児童が学校や家庭でのようすについて、項目に答えた割合（％）です。グラフから、特に算数において、関心や理解に課題があります。指導方法も含めて力を入れていかなければならないと考えています。

### 4 学力向上に向けての学校の取り組み

#### （1）支援体制を充実する

今年度の学力・学習状況調査結果から見えてきた本校児童の優れた点をさらに伸ばすとともに、必要な児童には適切な支援を行い、学力の定着を図って参ります。

低・中学年には児童支援担当教員を中心に教科指導における複数指導や指導補助を行って参ります。加えて、今年度は教育経験豊富な学習指導補助員を年間60時間確保しました。高学年には、新学習システムの教員を配置し、算数の少人数指導や理科・社会・外国語活動などで教科担任制をとるなど、指導方法の工夫や充実を図り、指導効果を上げて参ります。

#### （2）学習意欲を高める

どの学年クラスでも、音読や漢字、計算ドリル・算数プリントなどを宿題に出し、最低30分間の家庭学習の習慣化を進めて参りました。宿題などを確実にさせることで基礎的な力がしっかりと身につくよう努めています。かなり定着し、学力向上に寄与している考えられます。やればできるという意識を持たせると共に、コンピュータや大型ディスプレイや実物投影機などのICT機器活用を通して、学習意欲向上にも努めて参ります。

#### （3）学力補充の機会を確保する

毎週木曜日を学力補充の日とし、放課後学習指導員を配置して、家庭学習の支援を行って参りました。現在120名以上の児童が登録しており、家庭学習の定着に一定の成果を上げています。また、担任も放課後等に「理解不十分なところ」を減らすべく指導に取り組んでおります。来年度も引き続き実施して参ります。